

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センターありたま担当圏域レベル）

開催報告書

1 開催日時	令和6年12月24日（火） 10時00分～11時30分
2 開催場所	東行政センター 3階 31・32会議室
3 参加者	17名（委員 8名、関係機関 6名、事務局 3名）
4 協議の内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>3. 会長・副会長の選出</p> <p> 会則第7条に基づき、会長・副会長の選出を行った。</p> <p>4. 前回までの協議体の振り返り</p> <p> 配布資料に基づき、SCより前回までの振り返りを行った。</p> <p>5. 情報提供</p> <p> (1) 生活支援体制づくり協議体の振り返り</p> <p> 高齢者福祉課と市社協より情報提供を行った。</p> <p> (2) Googleマイマップ・jSTATMAPの紹介について</p> <p> 配布資料に基づき、CSWより情報提供を行った。</p> <p>6. 協議事項・テーマ</p> <p> (1) 地図から見える地域の状況や実態について</p> <p> ①Googleマイマップなどを見て感じたこと、気づいたこと</p> <p> ②Googleマイマップなどを踏まえた地域のニーズや、求められる取り組み</p> <p> 情報提供や地図を踏まえ、2つのグループに分かれて協議を行った。</p> <p> 【主な意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図にシニアクラブや新しく立ち上がった地区社協サロンの情報を追加することで、居場所マップの充実を図ることができると感じる。 ・また、空き家の情報を追加することで活用方法を検討することができるのではないかと感じる。 ・移動スーパーを導入している地域の情報やルートを追加することで「買い物」に着目して協議することができると感じる。 ・主要道路や東名高速道路、線路、川などをわかりやすく表示することができればより見やすい地図になると感じる。 ・地図にも示されているように大瀬町は高齢者世帯が多いという実態があり、サロンを立ち上げる予定である。 ・有玉台や半田山は、坂が多く、家事支援におけるゴミ出しの依頼が増えている。また、坂の多い

地域は買い物をしづらいという声が多く、徒歩10分圏内にスーパーがあっても利用するのは難しいと感じる。

(2) 本日の振り返りについて

① 本日の協議で印象に残ったこと、感じたこと

② 今後の協議に向けた地図の活用方法について

協議テーマ①とは異なる構成員のグループで協議を行った。

【主な意見・質問等】

- ・ GoogleマイマップやjSTATMAPは地域の実情がわかる地図であると感じる。
- ・ 家事支援の利用者状況を地図に示すことができれば、より地域の実態を把握することができるため、自治会や民生委員の日ごろの活動にマップを活用できると思われる。ただし、個人情報の配慮は必要だと思われる。
- ・ 地図の使い方や目的は状況によって異なるが、共通している点は地域の課題を掘り起こすための判断材料として地図を活用できるという点であると思われる。
- ・ GoogleマイマップとjSTATMAPの2つの情報があることで、新たに移動スーパーを導入する際などの根拠資料として活用できると思われる。
- ・ 地区社協の総会など、地域の会議で地図を活用することにより、地域の実情を共有するきっかけになると感じる。

(1) 生活支援体制づくり協議体委員報酬の支払いについて

SCより、委員報酬の支払いが今年度から振り込みになることについて周知した。

(2) 令和6年度 積志地区生活支援体制づくり協議体(第2回)について

事務局より、第2回の日程について確認した。

【協議結果】

日時：令和7年2月27日(木)14時00分から16時00分まで

場所：積志協働センター 302講座室

9. 閉会：副会長

5 今後の見通し・ 必要な対応

前回までの振り返りを踏まえ、今年度は以下を意識して協議を行っていくこととした。

① GoogleマイマップやjSTATMAPなどの地図の活用

② 他領域や他地域の取り組みなどの情報提供や様々な協議方法の実施

③ (①・②も踏まえた)生活支援に関する取り組みや地域のニーズについての意見交換

それを踏まえ、今回はGoogleマイマップやjSTATMAPを通して、地域におけるニーズや求められる取り組み、今後の地図の活用方法について協議を深めることができたと感じる。第2回は、今回の協議体で挙げられた地図の活用方法を活かし、引き続き地域の実態をより明らかにするために協議を深めていきたい。

